

千葉薬品社長賞

千葉県／53歳／女性／手あみアシスタント

ねんまえ ちゆうがくいちねんせい

40年前の中学一年生

✉手紙の相手：中学時代の音楽の先生

前略

沼尻先生お元気でしょうか？先生は名字が変わってもう数十年ですね。私は出来たばかりの早野中でたった一年だけ先生に音楽を教わった者です。不思議なもので先生の授業を受けたのは、たったの一年なのに先生に教わった歌はよく覚えています。

出来たばかりのま新しい校舎、教室に電話があり大き過ぎた事、カーテンがまにあわなかった窓、期待に胸おどらせて入学した筈なのに私の心は次第に暗くしぼんでいきました。クラスに気の合う人がおらず何となく居場所のない感じでした。楽しくない毎日でした。いつも廊下から外を眺めていたような気がします。私にとってつらい一年生でした。そんな中思い出すのは、先生のショートカットで色白のお顔です。担任でもないし一年間音楽を教わっただけなのに、先生の授業が思い出されるのです。アルトリコーダーの記名は楽器を傷つけないから白い紙に記名しセロテープで貼るように

言われた事。楽器を大切に思う心に先生の優しさを感じました。

「明日に架ける橋」「ホワイトクリスマス」先生に教わった英語の曲、今でも歌えます。英語で歌うとちよっぴり大人になったような気分になり、心が高まりました。声を出して歌うと教室でのモヤモヤ、厳しい部活のつらさ、いろんな心の重いものを一時、宿題として置いておいて歌う事の喜びに浸れました。本当に楽しかった。本当に救われたのです。先生のピアノをたちながら弾く姿が思い起こされます。結婚して一宮の人間となり先生のお宅の前を通る度に先生はお元氣だろうか、お手紙書いてみようか、いやいやそんな自分の気持ちを押しつけるような手紙は差し出すべきではないと逡巡しながらの十数年でした。

先生、結婚して幸せになりましたか？

どうかどうかお身体ご自愛ください。

草々

令和5年夏

40年前の中学一年生より

✉手紙への想い

先生に感謝の気持ち伝えたかった事とその時はそう思わなくても感じなくても、後からはつきりと先生の授業に助けられていた事、楽しかった事を感じました。時間の長さではなく、濃さなのだと思います。